

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		福祉政策課・生活福祉課補助・連絡調整事務				担当課	岡部市民生活課	担当係	福祉係	管理番号	21211
総合計画	大項目	6 みんなで創る協働のまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2 将来に向けた持続可能なまちづくり				根拠法令 個別計画等	生活保護法、深谷市災害弔慰金の支給等に関する条例 深谷市災害見舞金等支給要綱、深谷市火災災害者仮住居 援助金支給要綱 深谷市法外援護実施要綱 等				
	小項目	4 行財政運営の推進									
	主要プロジェクト										
事業概要		市民を対象に生活保護事業、罹災者等援護事業、行旅病人・死亡に関する事務等の窓口業務及び福祉政策課及び生活福祉課との連絡調整を行うことにより、安定した行政サービスを提供するものである。									
目的 ※何のために		福祉に関する安定した行政サービスを提供するため									
対象 ※誰・何を対象に		市民の方									
手段 ※どのように		生活保護事業、罹災者等援護事業、行旅病人・死亡に関する事務等の窓口業務及び本庁福祉政策課及び生活福祉課との連絡調整を行う。									
成果 ※何を求めるか		市民福祉の維持及び向上									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他( )									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名			前年度決算額(円)		
本事業の 主な業務		・生活保護業務					・				
		・罹災者等援護業務					・				
		・法外援護業務					・				
		・戦没者・戦傷病者給付業務					・				
		・福祉政策課との連絡調整					・				
		・生活福祉課との連絡調整					・				

## 2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	0.36	0.36	0.39	0.39		
	人件費相当試算※	2,833,041	2,883,660	3,206,674	3,325,850		
総事業費試算		2,833,041	2,883,660	3,206,674	3,325,850		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
		目標値の算定根拠/実績値の出所							
活動指標 1	福祉関係（生保）相談等窓口 対応件数	目標値	件						
		実績値		1.00	1.00	1.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		行政の働きかけによるものではないため目標値は設定しない / 年間相談件数を図る						
	実績値の算出式								
成果指標 1	福祉関係（生保）に関する苦 情件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00			
		実績値		0.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		窓口の満足度を図る意味で、苦情件数の目標値をゼロとする / 苦情として処理した件数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

#### （1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	福祉政策課、生活福祉課との連絡調整を行い、市民の状況に応じて適切に対応することができた。直接で相談内容を確認し、福祉政策課のふくしの窓口業務を引き継ぐことができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	接遇マナーに努め、丁寧な説明により、窓口対応や相談でのトラブルはなく、スムーズな窓口業務ができた。
			評価者 福祉係長 関根 貴恵

#### （2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	受付時の対応事項を作成し、係内で共有して対応を実施している。生活困窮者から詳しく話を聞き、生活状況の把握に努め、適切な行政サービスの提供に結び付けることができた。福祉政策課と連携し、情報の共有に努めたことで業務の効率化を図ることができた。
			評価者 福祉係長 関根 貴恵